

岐阜市

洪水 ハザードマップ

伊自良川・鳥羽川・板屋川

令和2年3月 作成

災害時の我が家ルール

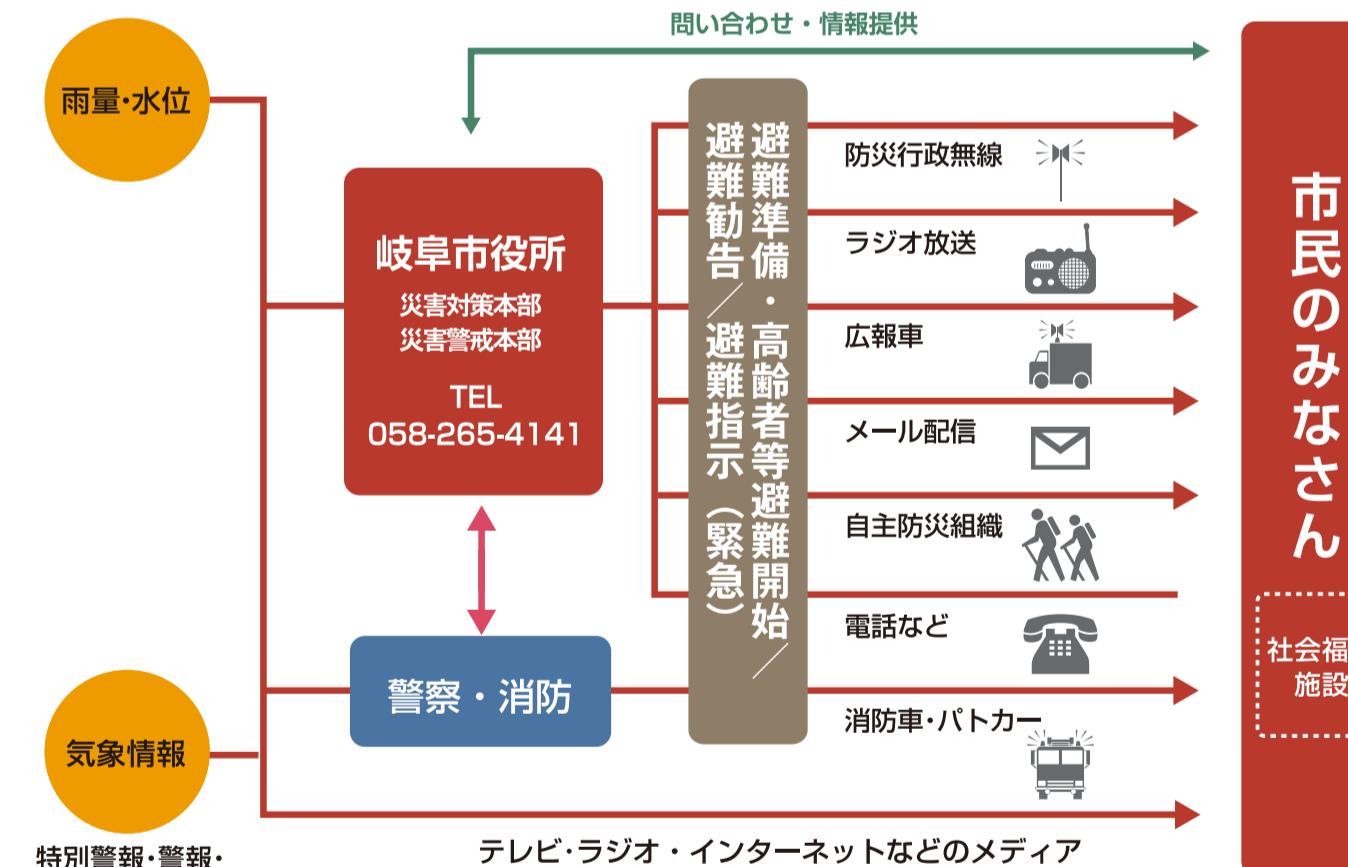
わが家の避難場所

(家族で話し合って避難する場所を決めておきましょう。)

施設名	備考
私の地域で優先して開設される避難場所は	水害のおそれのある場合は、各地域の拠点となる地区公民館又は小学校を優先して開放します。公民館又は小学校の名称を記載ください。
です。	
上記の他に近隣の高い建物は	
です。	
◆わが家の避難時のルール	
わが家では ときに 避難します。	
例: 避難勧告が発令された 例: ○○公民館	
避難場所までの避難経路を裏面のマップに書き込んでおきましょう。	

情報の入手方法

岐阜市の災害時の情報伝達



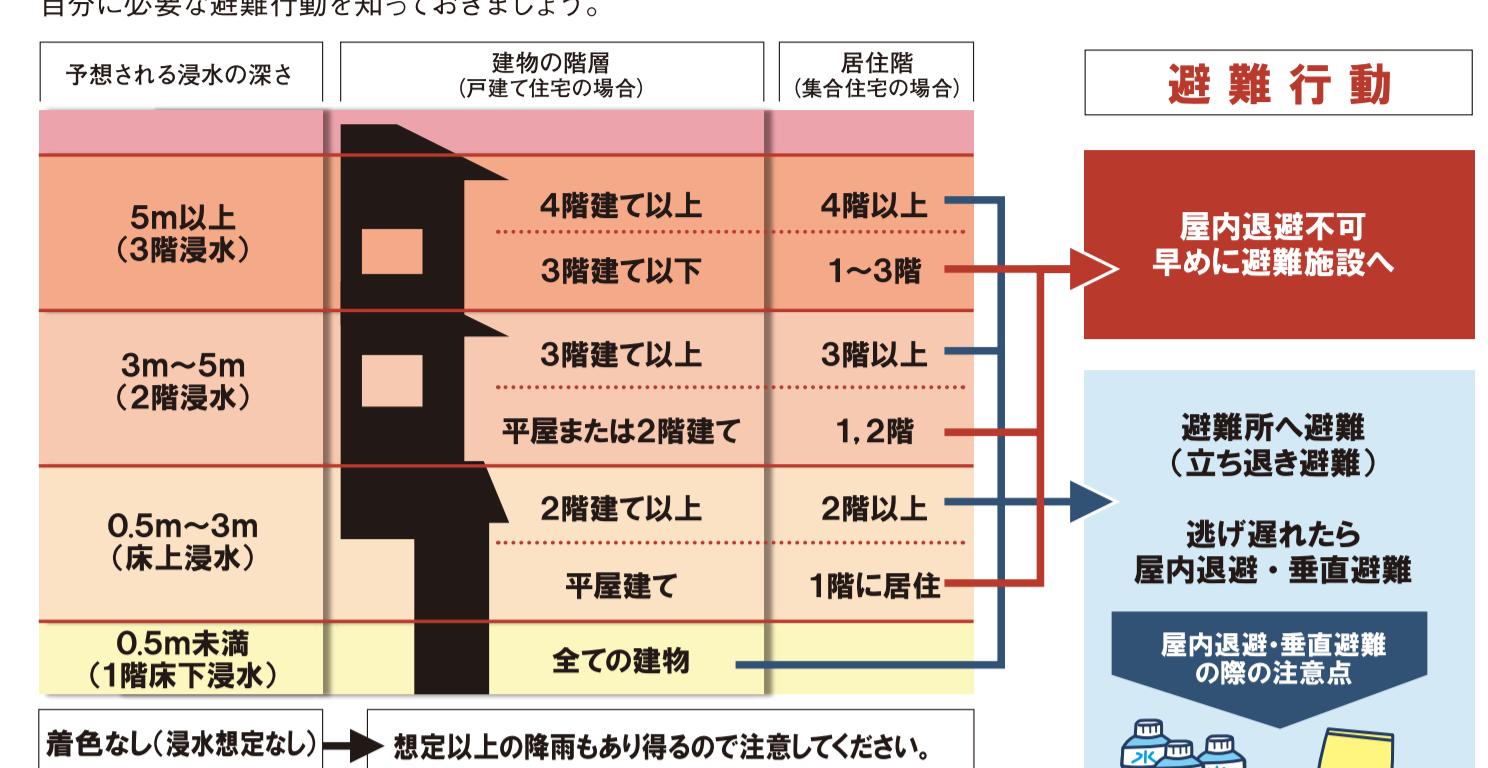
気象予警報・河川状況などの情報

各予警報・雨量・河川水位・治水施設などの情報がインターネットや携帯電話からリアルタイムでなどにご覧になります。	■ 気象庁ホームページ http://jma.go.jp
	■ 岐阜県 川の防災情報 http://www.kasen.pref.gifu.lg.jp
岐阜市気象・災害メール配信サービス	
岐阜市内に発表される気象情報、避難勧告などの避難情報、行政情報などを手持ちの携帯電話やパソコンにメールを配信するサービスを行っています。	
左記 QR コードの読み取り又は、 gificity@sg.m.jp に空メールを送信します。 登録用 URL が記載されたメール受信後、利用規約を確認いただき、「メール配信に同意する」ボタンを押します。 受け取ったメールを選択いただき、「[入力内容を登録する]」ボタンを押します。 「本登録完了のお知らせ」メールが届いたら、登録は完了です。	
※ご利用には、迷惑メール設定等の解除が必要な場合があります。	
問合せ先 岐阜市 都市防災部 都市防災政策課 TEL058-265-4141(内線4142)	

あなたに必要な避難行動は?

建物の浸水想定深は

予想される浸水の深さ、お住まいの建物の高さによって、必要な避難行動に違いがあります。自分に必要な避難行動を知っておきましょう。



避難行動のポイント

危険が近づいたらすぐに安全な避難所等に避難することが大切です(立ち退き避難)。しかし、避難している最中に被害にあう可能性もあります。

下記の立ち退き避難前のチェック項目についても当てはまる場合は無理に外に出ず、少しでも高いところに避難し、命を守る最低限の行動をとりましょう(垂直避難)。



①

立ち退き避難

② 避難場所へ避難所以外の安全な場所(親戚や友人の家等)への移動

③ 近隣の高い建物、強度の強い建物等への移動

④ 建物内より安全な場所(高い場所など)への移動とその場所での待機

立ち退き避難の前に、以下の項目をチェックしてみましょう。

- 夜間で避難路上の危険個所がわかりにくい。
- 避難路に崩れそうな斜面がある。
- 避難所までにひざ上り(50cm以上)に浸水している
- 浸水は浅い(20cm程度)が、水の流れがやい。
- 避難路に蓋がない用水路があり、位置がわからない。

自宅外避難の心得

1 非常持ち出し品を準備しておきましょう

避難所の備蓄品には限りがあり、高齢者や身体の不自由な人、乳幼児などへ優先的に配布されますので、自分が十分準備をする安心です。非常持ち出し袋には、両手の空きリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、いちど背負ってみてましょう。

■あまり重いと避難行動に支障があるので、重すぎると場合は減らしましょう。

■水を注ぐだけで簡単にできる比較的軽い乾燥食品などを用意しましょう。

■各自に1つのリュックを用意し、それぞれ持ち出しやすい場所に分散して保管しましょう。

男性15kg
女性10kg

程度が重さの目安です

●

3 避難の方法を確認しておきましょう

自家用車での避難は、緊急自動車の通行を妨げるとともに、交通渋滞を巻き起こしますのでやめましょう。どうしても自家用車での避難をしたい場合は、さらに早めの避難開始が重要です。

●

6 やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

7 市指定の避難所での注意

水害時に開設される市指定の避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在することとなります。大声を出したり騒いだり他人が不便に感じるような言動は控えましょう。互いの気分が大切です。

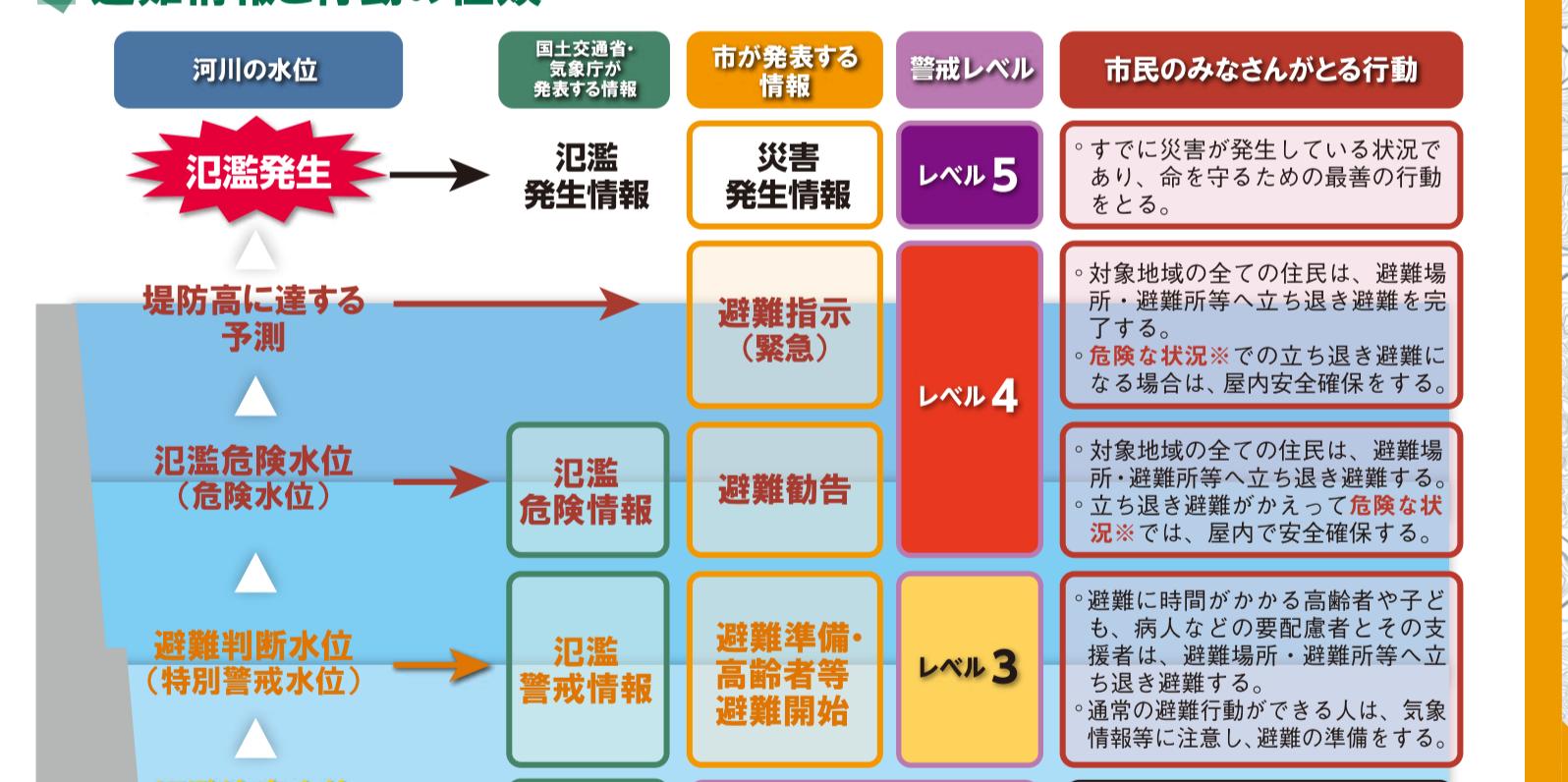
ペットと同行避難する場合には、ケージなど必要な資材やペットフードはできる限り持参しましょう。また、避難所では他の避難者の迷惑とならないよう自分のペットの管理をしましょう。

8 地域で協力を

高齢者や身体の不自由な人など、避難に時間と要する人については、避難準備・高齢者等避難開始などを参考にして早くに避難するようにしましょう。普段から地域で情報を交換し、いざというときには協力し合い、豪雨災害による犠牲を防ぎましょう。

避難の準備

避難情報と行動の種類



●

4 早めの避難を心がけましょう

浸水からの自宅外避難は危険です。市は降雨や河川水位などの情報をもとに避難勧告等の発令により避難を呼びかけますが、身の危険を感じたら自主的に避難を開始してください。避難する際に隣近所に声をかけ、駆けつけているかを確認してから避難しましょう。

●

5 ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わず事態にあたったときに危険です。市は降雨や河川水位などの情報をもとに避難勧告等の発令により避難を呼びかけますが、身の危険を感じたら自主的に避難を開始してください。避難する際に隣近所に声をかけ、駆けつけているかを確認してから避難しましょう。

